

第96期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで



トップメッセージ

**中核事業の深耕と伊藤忠食品らしい取り組みの積み重ねで
もっとグッドなカンパニーへ**

証券コード: 2692

伊藤忠食品株式会社



中核事業の深耕と 伊藤忠食品らしい取り組みの積み重ねで もっとグッドなカンパニーへ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

平成26年3月期第2四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の事業概況をご報告し、通期の見通しについてご説明させていただきます。

平成25年12月

代表取締役 社長執行役員

星 秀一

ほし しゅういち
星 秀一 生年月日 昭和30年9月6日生まれ(58歳)

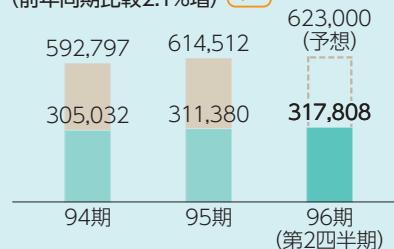
略歴

昭和54年	4月	伊藤忠商事株式会社入社
平成18年	4月	同社食品流通部門長補佐(兼)食品流通部長
平成21年	4月	同社食品流通部門長(兼)CVS事業推進部長
平成22年	4月	同社執行役員食品流通部門長
平成22年	12月	当社取締役
平成23年	4月	当社代表取締役 副社長執行役員
平成25年	6月	当社代表取締役 社長執行役員(現任)

連結決算ハイライト (単位:百万円)

売上高

317,808百万円
(前年同期比較2.1%増)



Q 社長就任の抱負をお聞かせください。

このたび代表取締役社長に就任いたしました星秀一でございます。伊藤忠商事の執行役員食品流通部門長などを経て、2010年から取締役として当社の経営に携わり、直近の2年間は副社長として営業全般を管掌してまいりました。会長に就任した前社長の濱口泰三とともに、伊藤忠食品グループの企業価値増大に努め、株主の皆様をはじめとするステークホルダーのご支援にお応えしてまいる所存です。若輩者ではございますが、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

当社グループは「卸機能日本一のグッドカンパニーになる」ことをビジョンに掲げています。これを実現するために私が最も重要だと考えるのが、「コンプライアンスの遵守」と「安定的な収益の確立」の2点です。これらを常に意識しながら、グループの全従業員が、今日は昨日よりも進歩していく。このことが、当社グループ成長の原動力です。ひとり一人の「もっとグッドなカンパニーへ」を積み重ねることで、大きな成長を実現していきたいと考えています。

Q 当第2四半期の経営成績についてご解説ください。

流通業界の厳しい競争を反映し、増収ながら利益は減少しました。

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融政策の推進を背景とした円高是正、株価上昇などから、輸出企業を中心に景気回復の兆しが見られた一方、原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、また新興国経済の成長鈍化などもあり、依然として先行き不透明な状況が続きました。食品流通業界では、雇用や所得などの将来の不安が根強い中、物価上昇懸念や来年4月に予定されている消費税率の引き上げを前に、日常生活の必需品に対する消費者の節約志向は一段と強まり、さらに小売業者間の競争がますます激化するなど、経営環境は非常に厳しい状況で推移しました。

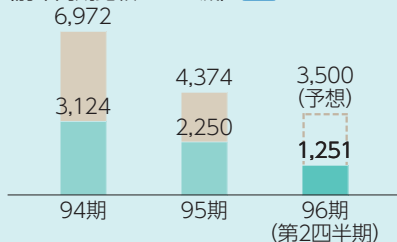
このような状況の中、当社グループは、「成長と繁栄」を当期のミッションに掲げ、新規取引の獲得や新分野への挑戦などを通じて売上・利益の拡大を図り、業務オペレーションの面

■ 第2四半期 ■ 通期

営業利益

1,251百万円

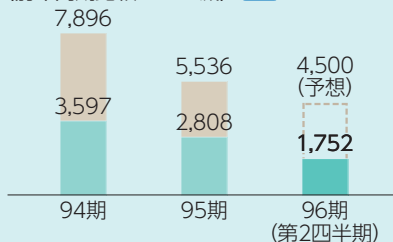
(前年同期比較44.4%減)



経常利益

1,752百万円

(前年同期比較37.6%減)

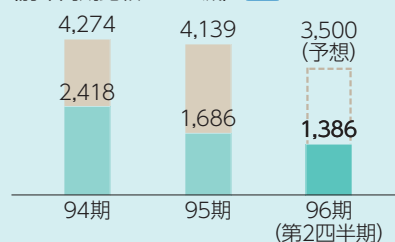


詳細はP5-6をご覧ください。▶▶▶

四半期(当期)純利益

1,386百万円

(前年同期比較17.7%減)



トップメッセージ TOP MESSAGE

ではコスト削減を推進し、高品質低コスト運営に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比較2.1%(64億27百万円)増加の3,178億8百万円となりましたが、営業利益は、経費の圧縮に努めたものの、売上総利益率が低下したことから、前年同期比較44.4%(9億99百万円)減少の12億51百万円となりました。これに伴い、経常利益は前年同期比較37.6%(10億56百万円)減少の17億52百万円、四半期純利益は、固定資産売却益を特別利益に計上したことなどにより、前年同期比較17.7%(2億99百万円)減少の13億86百万円となりました。

Q 新収益源の育成について、進捗状況はいかがでしょうか。

まず、当社が業界に先行して取り組みはじめたPOSA型ギフトカード事業は、得意先様からの問い合わせが確実に増えています。今期は大手小売業への導入が相次ぎ、取扱店舗

数は順調に拡大しています。ある調査によれば本年度のPOSA型カード市場規模は7,300億円と想定され、

うち自己利用が8割を占めるそうです。今は音楽やゲームといった自分用のカードが売れ筋ですが、今後はギフト利用も伸びる可能性が高いと考えています。当社オリジナルのカード発行と導入店舗の拡大の両面から、引き続き事業を強化します。

ブランド事業では今年2月に発売した「ピザラ・ピザトースト」がヒット商品となり、姉妹商品の開発も始まっています。かねてより好評を博している「タツヤ・カワゴエ」ブランドにおいても、パスタソースや乾物を使った簡便調理キットを新たに投入します。また、来春に向けてオリジナルスイーツを多



(上)お取り寄せグルメカード
(左)エノテカワインギフトカード

●当期ミッションとNEXT10について

NEXT10 ビジョン 卸機能日本一のグッドカンパニーになる

売上・利益の拡大

- 1 優良顧客・メーカーとの取引深耕による取引拡大
- 2 新規取引の獲得、新分野への挑戦
- 3 不採算取引の改善による赤字取引の撲滅
- 4 ブランド開発商品・POSA型ギフトカードの拡大
- 5 海外戦略の実行

●96期ミッション●

成長と繁栄

高品質低コスト運営の実行

- 6 LCC型卸の構築(高品質ローコストオペレーション)
- 7 BPR・BPO・IT化の推進
- 8 コンプライアンスの徹底遵守
- 9 プロフェッショナル集団の育成
- 10 CSR経営の推進

数開発しており、今後もスイーツ分野と冷凍食品分野を中心に拡大していく考えです。

このほかに、当社は2007年から「はい!お届け便」という小売店の宅配代行サービス事業を行っています。こちらでも得意先様からの導入要望が急増しており、現在は首都圏を中心に展開しておりますが、今後エリアの拡大を検討していきます。導入店舗の拡大、店頭告知やポスティングによるサービス利用者拡大とともに、配送コースの効率化も進めています。

Q 業務オペレーションの改善については いかかですか。

この4月から「業務改革室」を新設し、コスト削減を全社横断で推進する体制を強化しました。また、9月には東京本社

を移転し、分散していたオフィスを集約して業務のさらなる効率化、社内連携の一層の強化に努めています。

Q 株主の皆様へのメッセージを お願いします。

当第2四半期の厳しい経営環境を踏まえ通期の業績予想につきましては、営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を下回る見込みのため、下記のように業績予想を修正いたしました。

●第96期 連結業績予想

売上高	6,230億円
営業利益	35億円
経常利益	45億円
当期純利益	35億円

なお、当社は、期間収益の増減に大きく左右されず継続的に安定配当を行うことを基本方針としております。当中間期の配当につきましては、予定どおり1株当たり34円とさせていただきます。

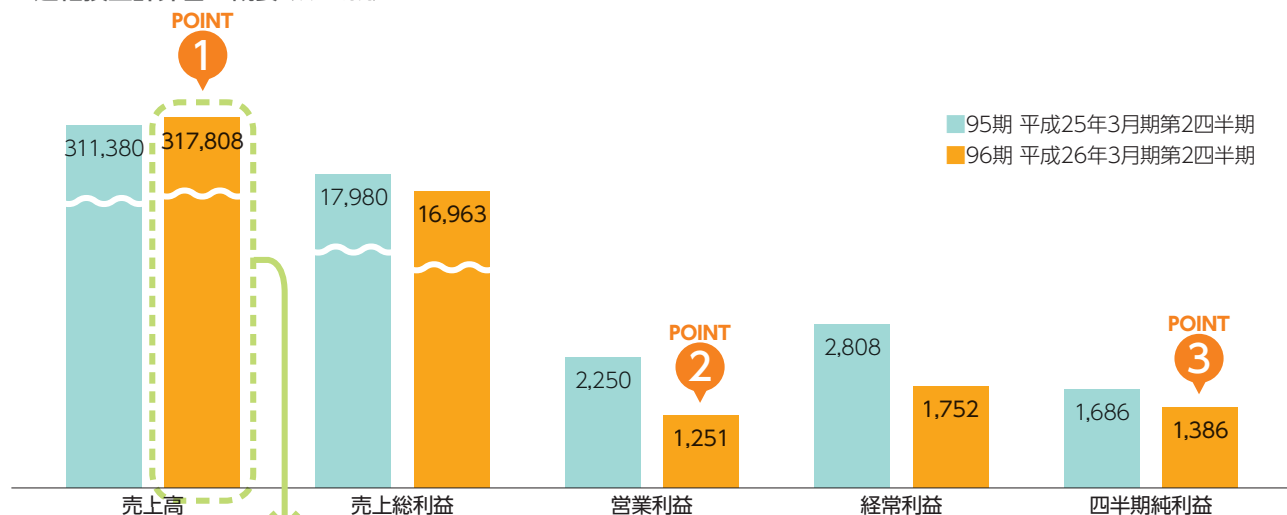
全てのステークホルダーの皆様にとって、これからも伊藤忠食品が価値ある存在であり続けるよう、「卸機能日本一のグッドカンパニーになる」というビジョンのもと、さらなる進化と成長を目指して邁進してまいります。

食品流通業界を取り巻く環境は依然として厳しく、様々な課題に直面しておりますが、グループを挙げてな一層の経営努力を進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、これからも末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

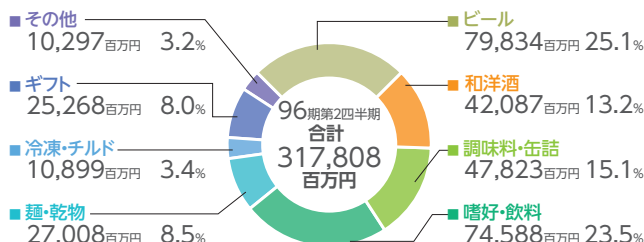


連結決算の概要 CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

● 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

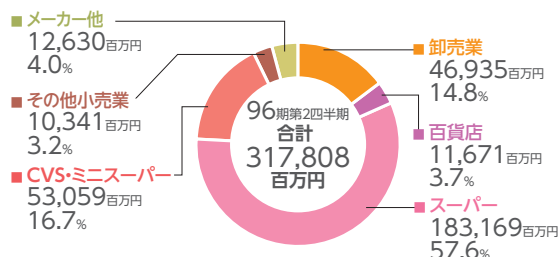


商品分類別売上高構成比



(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。

業態別売上高構成比



POINT

1 売上高は組織小売業との取引増加等により、前年同期比較2.1%(64億27百万円)増加の3,178億8百万円となりました。

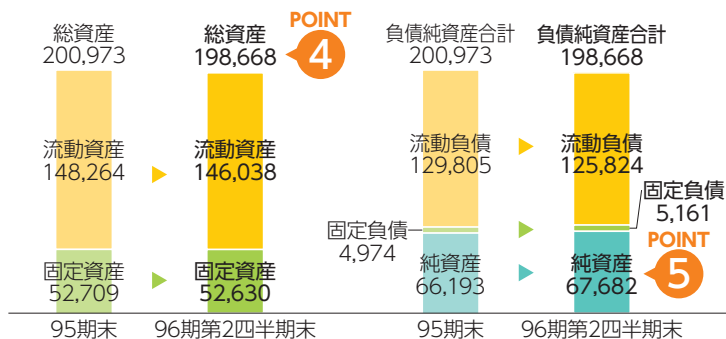
POINT

2 営業利益は経費の圧縮に努めたものの、売上総利益率が低下したことにより、前年同期比較44.4%(9億99百万円)減少の12億51百万円となりました。

POINT

3 四半期純利益は固定資産売却益を特別利益に計上したことなどにより、前年同期比較17.7%(2億99百万円)減少の13億86百万円となりました。

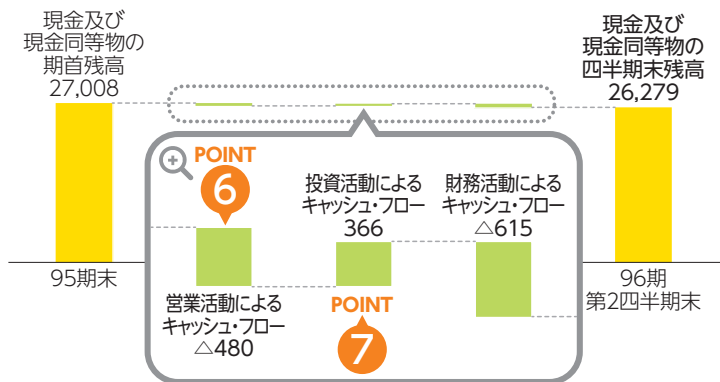
● 資産、負債及び純資産の状況 (単位:百万円)



POINT 4 総資産は、1,986億68百万円と前連結会計年度末より23億4百万円減少しました。これは、前連結会計年度末が金融機関の休日であったことによるものです。

POINT 5 純資産は利益剰余金の増加と株価の回復によりその他有価証券評価差額金が増加したことにより、676億82百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億89百万円の増加となりました。

● 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



POINT 6 営業活動によるキャッシュ・フローは4億80百万円の支出(前年同期は89億82百万円の収入)となりました。これは主に、仕入債務の減少によるものであります。

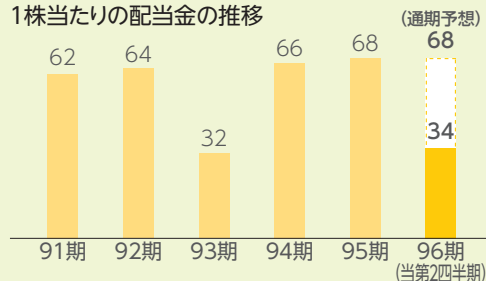
POINT 7 投資活動によるキャッシュ・フローは3億66百万円の収入(前年同期は13億29百万円の支出)となりました。これは主に土地・建物などの有形固定資産売却によるものであります。

利益配分に関する基本方針

当社グループは、期間収益の増減に大きく左右されずに継続的に安定配当をしていくことを基本方針としております。中間配当金につきましては、前期と同じく1株当たり34円とさせていただきます。また、通期の配当金につきましては中間配当金の1株当たり34円を含め、1株当たり68円を予定しております。

※93期は決算期変更により6ヶ月の変則決算となっております。

1株当たりの配当金の推移



より詳細な情報は当社ホームページをご覧ください。▶▶▶

伊藤忠食品 IR

検索

9月11日、12日の2日間、東京ビッグサイトで ISC PRESENTATION 2013を開催いたしました

「伝統と革新、そして挑戦」をテーマに昨年よりも規模を広げ、222社のメーカーにご出展いただき、約1万2,000名の方々にご来場いただきました。

ISC PRESENTATIONとは？

毎年、伊藤忠食品が食品メーカー、小売業、外食業等の業界関係者を対象に開催している食の展示会。今年は来場者がすべての出展商品を「食べる・飲む・体感する」ことができるよう企画しました。また、当社のオリジナル性の高い伝統的なギフト・物流の機能や革新的な開発商品も体験できる内容といたしました。

食べ・飲み比べ総選挙

「美味しく野菜」「ごはんのお供」「リラックスの一杯」など22のテーマに171社が参加し、224のメニューを展開した目玉企画。各社渾身の一品を持ち寄って自社商品の味とこだわりを強くアピールしました。来場者は試飲・試食後、テーマごとに気に入った商品に「いいね」シールを貼って投票しました。ご当地グルメも多数出品し、人気を集めていました。



商業高校フードグランプリ

商業高校フードグランプリは、コンテストを通じて継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学ぶことで、商品の改良や次の商品開発に活かしていただくこと、地域食文化の活性化に寄与することを趣旨として開催しました。高校生が地域の特産品を使ってメーカーと共同開発した「商品開発部門」には10校、商品化に至る前の「アイデア部門」には5校が決勝に出場。試飲・試食やステージでプレゼンテーションを行い、優勝を目指して高校生の熱戦が繰り広げられました。



「商品開発部門」大賞
岡山県立岡山東商業
高等学校の「とまかん」
(とまと羊羹)



「アイデア部門」大賞
北海道函館商業高等学
校の「函館100万円
夜景ゼリー」



ギフトカードモール

様々な店頭への導入が加速しているPOSA型ギフトカード。会場では、量販店の店頭へのギフトカードモールの導入事例紹介や、先行する米国ギフトカード市場との比較から、日本においても今後「自己利用」から「ギフト利用」という市場拡大の可能性について訴求しました。

会社概要 CORPORATE PROFILE

(平成25年9月30日現在)

商 号 伊藤忠食品株式会社
創 業 年 月 日 明治19年2月11日(1886年2月11日)
設 立 年 月 日 大正7年11月29日(1918年11月29日)
資 本 金 4,923,464,500円
従 業 員 数 連結1,078名 個別762名
事 業 内 容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、
運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関
するマーチャンダイジング等を主とした事業活動を
展開。
本 店 所 在 地 大阪市中央区城見2-2-22
大阪本社
〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22
電話 (06)6947-9811
東京本社
〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7
電話 (03)5411-8511

役 員
代表取締役・会長執行役員 濱口 泰三 常務執行役員 松本 耕一
代表取締役・社長執行役員 星 秀一 執行役員 三浦 浩一
取締役・常務執行役員 栢沼 康夫 執行役員 青山 裕一
取締役・常務執行役員 大釜 賢一 執行役員 松本 正幹
取締役・常務執行役員 阿部 淳一 執行役員 鈴木 昌
取締役(非常勤) 亀岡 正彦 執行役員 酒井 健雄
常勤監査役 小池 俊一 執行役員 河原 光男
監査役(非常勤) 増岡 研介
監査役(非常勤) 平野 育哉
監査役(非常勤) 川村 篤生

子会社・関連会社

卸売業／ (株)中部メイカン  (株)スハラ食品
小売業／ (株)宝来商店

物流管理・運送業／ 新日本流通サービス(株)
サービス業／ ISC ビジネスサポート(株)  (株)アイ・エム・シー

株主メモ

STOCKHOLDER MEMO

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月

基 準 日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特 別 口 座 の
口 座 管 理 機 関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各
支店で行っております。

公 告 方 法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電
子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
* 公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.itochu-shokuhin.com/>

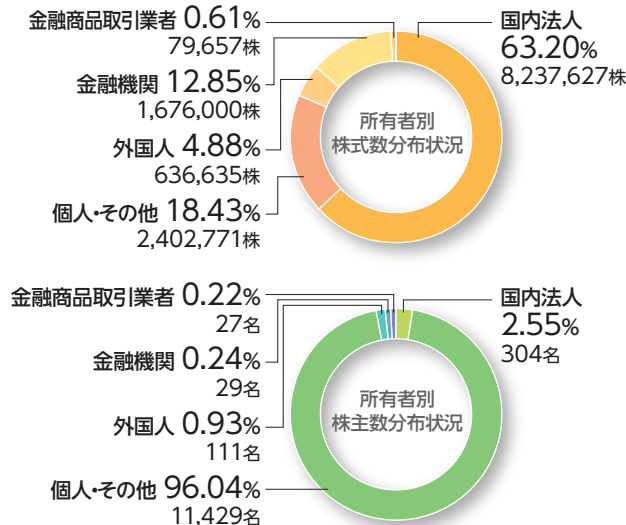
単 元 株 式 数 100株

証 券 コ ー ド 2692

株式の状況 STOCK INFORMATION

(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 13,032,690株
株主数 11,900名



大株主

株主名	所有株式数(株)	所有株式数比率(%)
伊藤忠商事(株)	6,620,316	50.79
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)	815,000	6.25
味の素(株)	339,129	2.60
松下 善四郎	302,000	2.31
アサヒビール(株)	296,500	2.27
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	249,300	1.91
伊藤忠食品 従業員持株会	176,100	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	123,900	0.95
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	96,700	0.74
はごろもフーズ(株)	87,100	0.66

(注) 1 上記のほか、自己株式が194,691株あります。

- 2 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール(株)退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール(株)が所有していた当社株式を三井住友信託銀行(株)に信託したものが、日本トラスティ・サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権はアサヒビール(株)に留保されております。
- 3 みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)の所有株式は、(株)みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行(株)に信託したものが、資産管理サービス信託銀行(株)に再信託されたもので、議決権は(株)みずほ銀行に留保されております。

ご案内

INFORMATION

住所変更、 単元未満株式の 買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様

▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため
特別口座を開設されました株主様

▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」 について

配当金領収証にてお受取りの
株主様

▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。

口座振込を指定されている株主様

▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

「配当金計算書」について

※確定申告をなされる株主様は大切に保管してください。

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待のご案内

● 3,000円相当

ちよいす de チョイス

厳選された約50種類の商品からお好きな商品をお選びいただけるギフトです。

当社では、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様1名につき1口、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っています。

優待のカタログの発送は6月を予定しております。

※カタログ掲載商品は変更となる場合があります。

福さ屋
無着色辛子めんたい
240g



博多華味鳥
カレーセット

博多ひもの工房
九州海鮮一夜干し



山元醸造
化粧箱入昆布包み味噌
木桶詰

大山ハム
伝統の逸品



一番人気



北海道トンデンファーム
ギフトセット

銘柄米詰合せ



第2位

「さんしょく伊賀上野の里」
ロースハム&つるし焼豚詰合せ



第3位

モチクリーム
なまどーなつ12個入り



千房
お好み焼・ミックス焼そば
セット

ちよいす de チョイス が届くまで

① 12月

中間報告書(本紙)ご送付
※中間期は、株主優待を実施
していません。

② 3月末

株主優待権利確定

③ 6月下旬頃

株主総会後、決議通知に優
待のカタログとハガキを同
封しご郵送いたします。

④ 9月30日までに ご投函ください。

カタログより優待商品をお
選びいただき、ハガキを返信
していただきます。

⑤ お届け

お選びいただいた優待商品
がお手元に届きます。

ISC 伊藤忠食品株式会社

■ 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06) 6947-9811

■ 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03) 5411-8511

■ インターネットホームページURL <http://www.itochu-shokuhin.com/>

**UD
FONT**



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して
植物油インクで印刷しています。